

COBRAゼミナール 特別企画

NPO COBRA・NPO イーマ 合同セミナー

「掘るまいか」

日時：平成17年3月17日(木) 18:30~20:00

場所：都市綜研インベストバンク(株) 会議室(千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビルF11)

演題：「掘るまいか」

講師：今岡亮司先生 <プロフィール> 元新潟県土木部長、日本建設情報総合センター理事等。
ドキュメント映画「掘るまいか」の総括責任者など。



内容：

中山隧道(なかやまずいどう)

- ・新潟県古志郡山古志村(H17.4.1市町村合併により長岡市)の住民により手掘りで掘られたトンネル
- ・巾2m 高さ2.5m 長さ922m(手掘りでは国内最長)
- ・昭和8年につるはし一つで掘り始め、昭和24年の完成までに16年かかる



山古志側入り口
(現在は通行止)



中山隧道内部

(旧)山古志村

- ・約2200人600世帯
- ・錦鯉、闘牛で有名
- ・棚田・四季折々の自然の美しさ、豪雪



工事中のエピソード

- ・トンネルは両側から掘り、反対側に行くのに峠を越えて行かねばならず、トンネルを掘るより反対側に行くほうが大変だった。
- ・最後に貫通させた者に賞金が出る。
- ・作業はローテーションで行っており、自分の交代時期になってもなかなか終わらなかった。

完成後のエピソード

- ・トンネルは真っ暗であり、途中で判らなくなり、入口から入って出口に出れずにまた入口に帰ってきた。

感想：

= 廣瀬 勇 =

あの中山トンネルの実現は、当時の地域コミュニケーション体制から出発していると思う。講師の話の中で、村八分の話等からその地域の規律、つまり、コミュニケーションの中でしか生きていけない時代ではなかったのではないのでしょうか。とはいえ掘り進んでいくうちに、仲間同士の競争意識などが良い方向にまとまっていったのだと思う。当時の地域にはコミュニケーションをまとめる信頼される指導者集団（あるいは個人）があったのではないのでしょうか。



= 小川知明 =

中越大震災、スマトラ大津波、連続的大型台風による各地の被害・・・昨年から今年にかけて枚挙に暇のない天災が相次ぎ、文明社会に胡座をかいていた我々に、天が怒りを込めて何かを気付かせようとしているとも取れる現象を見せ付けられました。

遠く振り返ってみると、先端技術に頼ることなく、先輩の熟練した技能を学びながら、一つ一つ手先に魂を込めながら作り上げていったものに価値を見出し、完成したときの喜びに浸った時代がありました。このような時代には、どこかに誰かを思いやる意識が自然に働き、作り上げたものを使用する人の喜びもさることながら、協働して作り上げていくチームワークも無意識の内に大切にしていたように思い出されます。

山古志村の中山隧道は、住民の利便性を追及するために、村民が一丸となって、しかもつるはし一つで取り掛かり 16 年という時間を費やして完成させたという逸品だといえます。今岡さんのお話を聴くことがなかったら、こんな貴重な体験を知ることなかったでしょう。

昭和 9 年という、丹那トンネルが完成し新東海道線が開通し、熱海行きの「新婚列車」がブームを呼んだときでした。また大阪 神戸間の急行電車が運転開始されたときでもありました。多分そのような都会での出来事を山古志村の人達は知る由もなかったと思います。昭和 25 年は、聖徳太子の千円札が発行され、上野から青森までの国鉄運賃が 750 円の時代だったのです。山古志村の方達には失礼ですが、都会と田舎では技術や文明の違いが大きかったのも、情報化が進んだ現代社会では考えられないことと言えます。このような状況も考え合わせると、この山古志村の中山隧道の工事は正しく偉業と言えます。ご案内書には「16 年におよぶ精神とエネルギーの記録」とありましたが、本当に深い意味を感じます。金持ちと貧乏人が経済的なバランスを保ちながら共生していたことも、社会保障の原点があるような感じを受けました。

豪雪の山村・新潟県山古志村。

つるはし一つでトンネル掘りに立ち向かった村人たちの
16年におよぶ精神とエネルギーの記録。



「貧乏人は麦を食え！」昭和 25 年に池田勇人蔵相が言った言葉です。終戦 5 年、復興の兆しが見え、米の飯が食えるようになってきたのもこの時代だったと思います。60 年経った今の時代には考えられないことですね。

今岡さんは、当時のドキュメントを淡々とした口調で語られました。とかくこのようなお話の時には、「かくあるべき論」が来るものなのですが、今岡さんは、このドキュメントを通して、現代社会で何時しか忘れ去ってしまった自主的な「努力」や「自治」「共生」「思いやり」などを我々に気付かせたかったのではないのでしょうか。1900 名を越す有志によって完成した「掘るまいか」は、今岡さんの精神とエネルギーの結晶と言えるでしょう。是非大切に鑑賞させていただきたいと思います。

お話をお聴きしながら、何故かしら大切なものを忘れていた自分に恥ずかしい思いが走ったのは私だけではなく、今後の COBRA の活動にも、「技術」だけではなく「魂」を付加した事業や勉強が重要であると思いました。

今岡さん、本当に素晴らしいご講演を有難うございました

ドキュメンタリー映画「掘るまいか」は、2003 年春に完成後、各地で上映されています。

上映などの情報 <http://www005.upp.so-net.ne.jp/zuidou/>